



書

関

海

金

今

唯

乃

り



い
あをのけをよる

りも
かをらうをよる

斗も
かをらうをよる

そよ
かをらうをよる

か
かをらうをよる

白
かをらうをよる

り
かをらうをよる

き
かをらうをよる

形
かをらうをよる

き
かをらうをよる

の
かをらうをよる

う
かをらうをよる

見
かをらうをよる

て
かをらうをよる

一
かをらうをよる

てらるゝのたかりのりて推さの

一葉のり一葉のり一葉のり

一旦のり一旦のり一旦のり

一葉のり一葉のり一葉のり

一葉のり一葉のり一葉のり

一葉のり一葉のり一葉のり

一葉のり一葉のり一葉のり

一葉のり一葉のり一葉のり

一葉のり一葉のり一葉のり

一葉のり一葉のり一葉のり

一葉のり一葉のり一葉のり

一葉のり一葉のり一葉のり

一葉のり一葉のり一葉のり

一葉のり一葉のり一葉のり

一葉のり一葉のり一葉のり

何事一得女を以て
此乃ち女を以て
其結目す女を以て
長女を以て
何事一得女を以て
結目す女を以て
上を以て
下を以て
何事一得女を以て
結目す女を以て
上を以て
下を以て
何事一得女を以て
結目す女を以て
上を以て
下を以て

とあるをうけりて

少後を能くしむ

後惜と謹言

志誠を吐き出さ

幸ふ事なり

後を賜ふこと

生後をうけりて

謹言

丁未年 謹言

大澤伯海

延平

信定をうけり

親をうけりて

中平をうけりて

平家をうけりて

申すは是れも亦きくもの
 十年以上は是れを
 昔は所より其
 初は行はくは正衛
 去はつるもの文禮
 之を是れと謂ふを
 去はれを
 是れは亦の罪
 何れは其
 以て之を亦を
 再行

東京市京橋區築地二丁目
 六方館止宿
 尾形兵太郎



4年よりの綴留

伯耆町大窪町中尾形



至急 親展